

水稻の8月上旬の巡回調査結果の概要

【東北信】 調査日 8月2日、3日、5日、6日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信15ほ場、北信17ほ場、計32ほ場＞

1 葉いもち

- (1) 発病地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ高かった。
- (2) 令和6年7月19日付で、全県を対象に病害虫発生予察注意報第2号(イネいもち病)を発表し注意喚起などにより対策が講じられたため、上位葉(止葉、次葉)発病株率は平年と比べ少なかったが、東信地域の1ほ場で確認された。
- (3) 発病度は、東信地域は平年と比べて高かったが、北信地域は平年並であった。



図1 いもち病が上位葉まで進展したほ場(東信地域)

2 紋枯病

- (1) 発生地点率は、東信地域で平年と比べ高かったが、北信地域はやや低かった。
- (2) 発病株率は、東信地域及び北信地域ともに平年並であった。



図2 紋枯病の発病株(東信地域)

3 白葉枯病

巡回調査ほ場での発病は確認されなかった。

4 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカ

ア すくい取り調査(ネット20回振)における成虫及び幼虫の発生地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ高かった。

イ すくい取り調査における平均捕獲頭数(成虫)は、東信地域及び北信地域ともに平年並であった。

ウ 25株払落し調査における平均捕獲頭数(成虫及び幼虫)は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べやや多かった。

(2) セジロウンカ

ア すくい取り調査における成虫の発生地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年並であった。

イ すくい取り調査における平均捕獲頭数（成虫）は、東信地域は平年並、北信地域は平年と比べやや多かった。

ウ 25 株払落し調査における成虫の平均捕獲頭数は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べ多かった。幼虫は、東信地域は平年と比べやや少なかったが、北信地域はやや多かった。

(3) トビイロウンカ

巡回調査ほ場では捕獲されなかった。

(4) ツマグロヨコバイ

ア すくい取り調査における捕獲頭数（成虫＋幼虫）は、東信地域は平年並、北信地域は平年に比べ少なかった。

イ 25 株払落し調査における平均捕獲頭数（成虫＋幼虫）は、ほぼ平年並であった。

5 斑点米カメムシ類

(1) 発病地点率は、東信地域及び北信地域ともに平年と比べやや高かった。

(2) すくい取り調査による平均捕獲頭数は、東信地域及び北信地域ともに平年並であった。

(3) 斑点米カメムシ類の種類は、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシであった。



図3 ホソハリカメムシ（北信地域）

6 その他

(1) イナゴは、すくい取り調査で東信地域及び北信地域ともに発生地点率は平年と比べ高く、平均捕獲頭数はやや多かった。

(2) クサキリ・ササキリ類は、すくい取り調査で東信地域及び北信地域ともに発生地点率は平年と比べ高く、平均捕獲頭数は多かった。

(3) フタオビコヤガ（イネアオムシ）幼虫は、すくい取り調査及び払落し調査で東信地域及び北信地域ともに発生地点率は平年と比べ低く、平均捕獲頭数は少なかった。

【中南信】 調査日 8月1日、2日、5日、6日

<中南信地域の巡回調査ほ場：南信 18 ほ場、中信 20 ほ場、計 38 ほ場>

1 葉いもち

(1) 南信地域の3ほ場、中信地域の3ほ場で発生が確認された。

(2) 発病地点率は、南信州、木曾、北アルプスの各管内で平年と比べて高かったものの、発病株率、発病度は、全般に平年と比べ低かった。

2 紋枯病

- (1) 南信地域の3ほ場、中信地域の1ほ場で発生が確認された。
- (2) 発病地点率は、全般に平年と比べ低く、また発病株率は、木曽管内の1ほ場を除き全般に平年と比べ低かった。

3 白葉枯病

巡回調査ほ場での発病は確認されなかった。

4 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカ

ア すくい取り調査（ネット20回振）における平均捕獲頭数（成虫＋幼虫）は、全般に平年と比べ少なかった。

イ 25株払落し調査における平均捕獲頭数（成虫＋幼虫）は、全般に平年と比べ少なかった。

(2) セジロウンカ

ア すくい取り調査における平均捕獲頭数（成虫＋幼虫）は南信地域で平年並み、中信地域で平年と比べ少なかった。

イ 25株払落し調査では、南信地域及び中信地域ともに捕獲されなかった。

(3) トビイロウンカ

巡回調査ほ場では捕獲されなかった。

(4) ツマグロヨコバイ

ア すくい取り調査における平均捕獲頭数（成虫＋幼虫）は南信地域で平年並み、中信地域（特に松本管内）では平年と比べ多かった。

イ 25株払落し調査における平均捕獲頭数（成虫＋幼虫）は南信地域で平年と比べ少なく、中信地域（特に松本管内）では平年と比べ多かった。

5 斑点米カメムシ類

(1) 発生地点率は、すくい取り調査（ネット20回振）で南信地域及び中信地域ともに平年と比べ高かった。

(2) 斑点米カメムシ類の平均捕獲頭数は、南信地域で平年と比べて多く、中信地域では平年と比べやや多かった。特に南信地域ではホソハリカメムシの発生が目立った。

(3) 斑点米カメムシ類の種類は、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシであった。

6 その他

(1) イナゴは、すくい取り調査で南信地域及び中信地域ともに発生地点率は平年と比べ低く、平均捕獲頭数は平年に比べて少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類は、すくい取り調査での発生地点率は南信地域が平年と比べ低く、中信地域はやや高かった。平均捕獲頭数は、南信地域は平年と比べ少なく、中信地域は平年と比べ多かった。

(3) フタオビコヤガ（イネアオムシ）幼虫は、巡回調査ほ場では捕獲されなかった。

問合せ先

担当（東北信）：藤沢

TEL:026(248)6471 Eメール:bojo@pref.nagano.lg.jp

担当（中南信）：内田

TEL:0263(53)5642 Eメール:bojo-y@pref.nagano.lg.jp